

(1) 当計画が目指す施設の方向性

子どもたちが喜ぶ遊び場とするとともに、子育て世代が利用しやすい施設とし、まちなかに子育て世代の新たな交流の場を提供することにより、中心市街地の活性化を図る。

コンセプト		基本方針			具体例（遊びの種類、設備、機能）
案1 生きる力を育む 楽しい遊び場	◆基本方針1 いつ来ても楽しく、大野らしい魅力的な遊び場	子どもたちのチャレンジ精神・好奇心を刺激し、創意工夫しながら遊べる大野らしい遊び空間を提供。また、様々なイベントなどにより毎回新たな体験や発見ができる施設を目指す。	子どもたちが思いっきり体を使って遊ぶことができる施設	子どもたちの適度なチャレンジ精神・好奇心を刺激し、多様な遊びが生まれるよう、様々な遊び行動を誘発する遊具の設置 【チャレンジ精神・好奇心】 大勢でも遊ぶことのできる広いスペースと、多数の遊具アイテムを設置し、友達同士や親子と一緒に思いっきり遊べる場を提供 【集団、グループ遊び】 子どもが自ら創意工夫しながら遊びの中で学ぶことのできる空間を創出 【創意工夫・学び】	遊び機能 ・各種遊具（大型遊具、ボルダリング、ボールプール、高低差を活かした遊具など） ・大野らしさを取り入れ（自然、歴史、文化など） ・子ども達が自ら遊びを考えるスペース ・子ども向けイベント 創作機能 ・体験イベント ・子ども向けワークショップ ・キッチンスタジオなど
			何度も行きたくなる魅力的で思い出に残る施設	市の特徴ある資源をモチーフとした大野市らしさを取り入れた遊具を設置したり、遊びを通じて大野市の自然、歴史や文化を学べる仕掛けのある遊具の設置 【大野らしさ】 多彩なイベント（工作・ワークショップ）などの開催を通じて、来るたびにできることが増え、新たな体験・発見のある施設 【リピート、体験・発見】	
			全ての子どもたちが遊べる遊び場	乳幼児から児童まで、年齢に合わせた遊びを提供（メインターゲットを小学生に設定） 【年齢ごと】 健全者だけでなく・障がいを持つ子ども達も利用できる遊びを提供 【障害者】 他校区や地区外・観光客も気軽に来れる遊び場を提供 【交通】	
案2 大野の魅力を「あそび」で体感できる 遊びの広場	◆基本方針2 利用者みんなが満足する遊び場	乳幼児から児童までみんながイキイキと遊べ、同伴者を含めて快適に過ごせる子育て世代の拠点となる遊び場を提供。また健全者だけでなく、障がいを持つ子どもたちも一緒に遊べる遊び場を目指す。	小さな子どもたちも同伴者（保護者）と一緒に楽しく遊べ、親子で入れるトイレや授乳・オムツ交換・休憩・飲食なども容易な、親子でふれあい、親子の絆を育むことのできる施設 【機能】	親子のふれあい・交流促進機能 ・軽食や持参した弁当を食べられる飲食スペース ・休憩所 ・子育て世代の方が交流するスペース ・子育て相談機能	
子どもと祖母や子育て世代同士、地域の子育てサークル等との交流を創出し、地域コミュニティを育むとともに、子育ての悩みや情報を共有できる施設 【交流】			その他機能 ・トイレ、幼児用トイレ ・授乳室（おむつ交換含む） ・思いやり駐車場 ・バス乗降場		
同伴者も快適に利用できる施設			子育て相談や親子向けの育児セミナー、子育ての情報の発信など、地域の子育て支援機能をもつ施設 【情報・支援機能】		
案3 思いっきり遊び 生きる力を育む みんなの広場	◆基本方針3 安全で安心な遊び場	だれもが安心して遊べる安全な遊び場を提供。	床や柱などにクッション素材の物・不用意に口に入れても人体に影響のない材料を使用したり、気持ちを落ち着かせることが必要になった場合に利用できるスペースを設置したりするなど、子どもが安心して遊べるユニバーサルデザインによる空間づくり 【ユニバーサルデザイン、事故防止】	遊び機能 ・年齢別ゾーニング ・保護者が全体を見渡せる場所 ・静かな空間（落ち着ける場所） その他の機能 ・スタッフルーム・受付 ・救護室	
年齢別エリア分けを行い、発育段階に併せた遊びを提供することにより、事故のリスクを軽減 【ゾーニング】			安全・安心な管理体制		同伴者（保護者）のための見守りベンチ等を設けるなど、同伴者（保護者）の目が届きやすい配置 【見守り】
将来のメンテナンスを考慮した耐久性、交換・補修の容易な素材の遊具を設置するとともに、定期点検や、日常の点検を通じて安心して遊べる施設 【点検・メンテナンス】 安心して子どもたちが遊べる等管理カメラや巡回などのスタッフを配置し、万一事故が発生しても対応できる設備を設置 【セキュリティ】					全ての機能 ・ユニバーサルデザイン